

令和6年度予算概算要求について

- 令和6年度予算の概算要求が農林水産省から財務省に提出されました。
- 農林水産関係の予算要求額は、2兆7,209億円(対前年度比120.0%)。公共事業費として8,317億円(前年度比119.1%)を計上。また、東日本大震災復興特別会計における農林水産省関係予算概算要求分として総額314億円(前年度予算比8.6%増)を計上しています。
- 重点事項は、①食料の安定供給の確保、②農業の持続的な発展、③農村の振興(農村の活性化)、④みどりの食料システム戦略による環境負荷低減に向けた取組強化、⑤多面的機能の発揮、⑥新たな花粉症対策の展開と森林・林業・木材産業によるグリーン成長、⑦水資源の適正な管理と水産業の成長産業化となっています
- 公共事業関係では、農業農村整備事業が5,338億円、治山事業が746億円、森林整備事業が1,500億円、水産基盤整備事業が873億円(いずれも対前年度比119.8%)の要求額となっています。
- 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」、「総合的なTPP等関連政策大綱を踏まえた農林水産分野における経費」及び「食料安全保障の強化に向けた対応に係る経費」については、予算編成過程で検討することになっています。
- 当初予算での確保を基本とし、「国土強靱化」、「TPP対策」、「食料安全保障」に関連する予算も合わせて農林水産関係予算の必要額が確保できるように取り組んでまいります。



総合農林政策調査会・農林部会・農政推進協議会合同会議で発言

相次ぐ豪雨及び暴風雨による災害が激甚災害に指定

- 令和5年5月28日から7月20日までの豪雨及び暴風雨による災害については、全国を対象に激甚災害に指定されました。
- これにより、農地、農業用施設及び林道の災害復旧事業等について国庫補助率が嵩上げされます(過去5か年の実績の平均では農地は85%を96%に嵩上げ)。また、海岸、林地荒廃防止施設、漁港等の災害復旧事業等についても補助率が嵩上げされます(過去5か年の実績の平均では公共土木施設等は70%を83%に嵩上げ)。更に農業協同組合等が所有する倉庫等の農林水産業共同利用施設の災害復旧事業についても国庫補助率が通常の20%が最高90%まで嵩上げされます。
- 令和5年台風第7号の暴風雨による災害については、対象区域において激甚災害に指定される見込みです。農地は岐阜県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、鳥取県、岡山県、徳島県及び香川県、農業用施設は岐阜県、三重県、滋賀県、京都府、兵庫県、鳥取県、岡山県、徳島県及び香川県、林道は岩手県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、鳥取県、岡山県が対象です。



自由民主党農村基盤整備議員連盟による財務省主計局長への要請

現場の実態を視て、声を聴いて、声を実現に取り組んで参ります。

現場の実態を視て、声を聴いて、声を実現すべく取り組んで参ります。今後もあらゆる機会をとらえ、全国津々浦々の現場を訪問、現場の声を踏まえて、「強い農林水産業」と「美しく活力ある農山漁村」を創るため、あくまでも現場主義、地域主義を基本として、国政の中で積極的に活動して参ります。

参議院議員 **進藤金日子**



毎日元気に活動しています。

討議資料

各種会議・集会等に参加し、積極的に活動を実施しています。



新潟県西蒲原土地改良区で講演



自由民主党広島女性部長会議・研修会で講演



自由民主党茶振興議員連盟による野村農林水産大臣に申し入れ



自由民主党水産部会・水産総合調査会合同会議で発言

各地で皆さんと意見交換

国政報告会の開催、各地での各種総会等を通じて、多くの皆さんの声や現場の状況を聴かせていただいております。



佐賀県土砂災害現場の調査



宮城県「農地等震災復興現場検討会」に出席



和歌山県有田巨峰村オープニングセレモニーで挨拶



秋田県豪雨被災現場の調査



福島県ほ場整備現場を訪問



岩手県ほ場整備現場を訪問



ホームページ



Facebook



LINE



Instagram

参議院議員 進藤金日子事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館719号室
電話：03-6550-0719 FAX：03-6551-0719

皆様からたくさんの質問や激励をいただいています。



令和6年度農業農村整備事業関係予算の概算要求のポイントを教えてください



総額5,338億円(対前年度比119.8%)の要求で内訳は、農業農村整備事業(公共)が3,980億円(対前年度比119.8%)、農地耕作条件改善事業等の非公共の関連事業が655億円(対前年度比120.5%)、農山漁村地域整備交付金(公共)のうち農業農村整備事業分が703億円(対前年度比119.0%)です。これらにより、競争力強化のための水田の汎用化・畑地化や農地の大区画化、新たな農業水利システムの構築、国土強靱化のための農業水利施設の適切な更新と長寿命化、省エネ化・再エネ利用、省力化等による適切な保水管理、ため池の防災・減災対策や流域治水対策、農道や集落排水等の生活インフラの整備等を推進することとしています。



令和6年度森林整備事業と治山事業の概算要求のポイントを教えてください



森林整備事業(公共)の要求額が1,500億円(対前年度比119.8%)です。これにより、花粉発生源対策としてスギ人工林の伐採・植替え等の推進、森林吸収源の機能強化・国土強靱化に向けての間伐、主伐後の再造林、幹線となる林道の開設・改良を推進することとしています。また、治山事業(公共)の要求額が746億円(対前年度比119.8%)です。これにより、豪雨や地震等に起因する山地災害から国民の生命・財産を守るため、流木対策や機能強化対策の充実など、多様化する災害に対応した治山対策を図るとともに、流域治水との連携拡大や生態系を活用した防災・現在(Eco-DRR)等の強化により、国土強靱化に向けた取り組みを推進することとしています。



令和6年度水産基盤整備事業の概算要求内容を教えてください



水産基盤整備事業(公共)の要求額が873億円(対前年度比119.8%)です。これにより、水産業の成長産業化に向けた拠点機能強化対策として、①流通拠点漁港の機能強化とともに、②養殖生産拠点の形成を図ります。また、持続可能な漁業生産体制の確保のため、①漁場生産力強化のための漁場整備等、②漁港施設の強靱化対策とともに、③グリーン化推進のためのCO2排出抑制等に資する漁港・漁場の整備の推進を図ります。さらに漁村の活性化と漁港利用促進のため、漁村の生活環境の改善や既存施設の改良等を通じた漁港の利用促進のための整備、漁港の就労環境の改善等を図ることとしています。

皆様のご意見や感想をお聞かせください。お待ちしております。

毎日の活動については、進藤金日子オフィシャルサイトをご覧ください。

<https://www.shindo-kanehiko.com>